

あとがき

〈編集顧問〉

和 泉 徹
太 田 保 世
小 川 聡
諏 訪 邦 夫
永 井 良 三
堀 江 孝 至

〈編集委員〉

小 室 一 成
巽 浩 一 郎
橋 本 修
平 山 篤 志
福 田 恵 一
三 嶋 理 晃

〈編集協力委員〉

赤 石 誠
大 江 元 樹
北 風 政 史
小 山 信 一 郎
中 沢 潔
(五十音順)

本号の特集「呼吸器領域の新しい薬物療法」は、各疾患の薬物療法の現状と将来展望について解説した。病態形成の分子機構の解明は責任分子を標的とした治療法の開発に貢献する。諸外国と情報を共有した特発性肺線維症ガイドライン作成は、疫学・病態の情報を共有し薬物療法の適正化・開発に貢献するうえで重要である。

特集のほかに「気管支喘息と細気管支疾患」、「気管支喘息の natural history」、「肺癌診療における超音波気管支内視鏡の役割」を掲載した。画像と機能の関連性は、画像所見と病理組織学的変化や形態変化の相関のみならず機能評価・変化の情報を提供する。気管支喘息の自然史は、症例全体を対象とした疫学調査から始まり、難治化因子・合併症・併存症の影響、さらにフェノタイプ別の自然史も焦点が当てられている。肺およびリンパ節病変の評価・診断における内視鏡の重要性は疑う余地がない。内視鏡は硬性鏡、ファイバースコープ、そして超音波内視鏡へ進歩し、現状における超音波内視鏡の有用性について解説されている。循環器領域では、「高感度トロポニン T 測定により明らかにされてきたこと」は、高感度トロポニン T 測定は非専門医でも疾患と病態の評価や診断に利用しており、さらに理解が深まる内容である。「CABG か PCI か内科治療か—外科の立場から」は、冠動脈疾患に対する治療法の現状を詳細に解説した。「川崎病の臨床像と治療戦略」は、診断、詳細な鑑別診断、米国との相違、最新の TNF α を標的とした治療について解説した。このほか、「ECMO の有用性について」は、歴史と最近のトピックスを中心に解説した内容である。新連載「呼吸器内科医への留学のすすめ」は留学希望者を増やし勇気づける企画である。留学時代を思い出すとともにこの企画によって留学希望者が増加することを祈念する。本号の内容が、読者にお役に立てれば幸いである。

(橋本 修)

呼吸と循環(第62巻 第4号)

2014年4月15日発行(毎月1回15日発行)

定価: 本体 2,700 円 + 税

(2014 年年間購読料(税込, 送料弊社負担))
冊子版 33,330 円 冊子 + 電子版/個人 38,330 円
冊子 + 電子版/共有 43,300 円
電子版/個人 33,330 円 電子版/共有 38,300 円

E-mail : kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 吉富・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2014. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。